

第2期桑名市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略



目次

Contents

第2期桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略

I	第2期桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたって	1
	1. はじめに	1
	2. 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは	1
	3. 第2期桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の前提となる社会背景	1
	4. 人口ビジョン	1
	5. 基本的な視点	2
II	桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付けと効果検証	3
	1. 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略と桑名市総合計画との関係	3
	2. 「第1期桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証	4
III	第2期桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	5
	1. 戦略の方針	5
	2. 戦略の計画期間	5
	3. 戦略の基本目標	5
	4. 戦略の基本的な方向、具体的な施策、重要業績評価指標(KPI)	8
	【基本目標1】暮らす	8
	① 「暮らしやすいまち」を創生する	8
	② 「住んでみたいまち」を創生する	14
	③ 「住み続けたいまち」を創生する	15
	④ 「働きやすいまち」を創生する	19
	【基本目標2】インバウンド	22
	① 「魅了するまち」を創生する	22
	② 「国際力豊かなまち」を創生する	24

I 第2期桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたって

1. はじめに

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、総合戦略）とは、人口急減・超高齢化という大きな課題に対して、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生することを目的に、2014年11月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定されたもので、5か年における地方創生を目的とした施策・計画を指します。

当該計画期間の経過により、2019年12月に第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定され、第1期で定められた4つの基本目標を概ね踏襲した基本目標（「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」、「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」）と、横断的な目標2つ（「多様な人材の活躍を促進する」、「新しい時代の流れを力にする」）が設定されています。

こうした国の総合戦略の改定や、桑名市が平成27年に策定した「桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、第1期総合戦略）の計画期間が終了したことを背景に、今後も地方創生に関する取り組みを推進するため、第2期「桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、第2期総合戦略）を策定しました。

2. 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

第1期総合戦略は、桑名市が将来に向けて発展し、だれもが桑名で暮らすことに誇りを持ち、快適さを感じられるまちづくりを進めるとともに、少子高齢化、生産年齢人口の減少などの社会構造の変化において、その変化に対応し、活力ある桑名市であり続けるために、政策分野ごとの基本目標の達成に向けての基本的な方向性、具体的な施策をまとめたものです。

2つの基本目標として、「暮らす」と「インバウンド」を設定し、桑名市の住み良さの向上や、魅了するまちとしてのプロモーション活動に取り組んできました。第2期総合戦略は、この第1期総合戦略での取り組みの成果と課題、今後の展望を踏まえて策定しています。

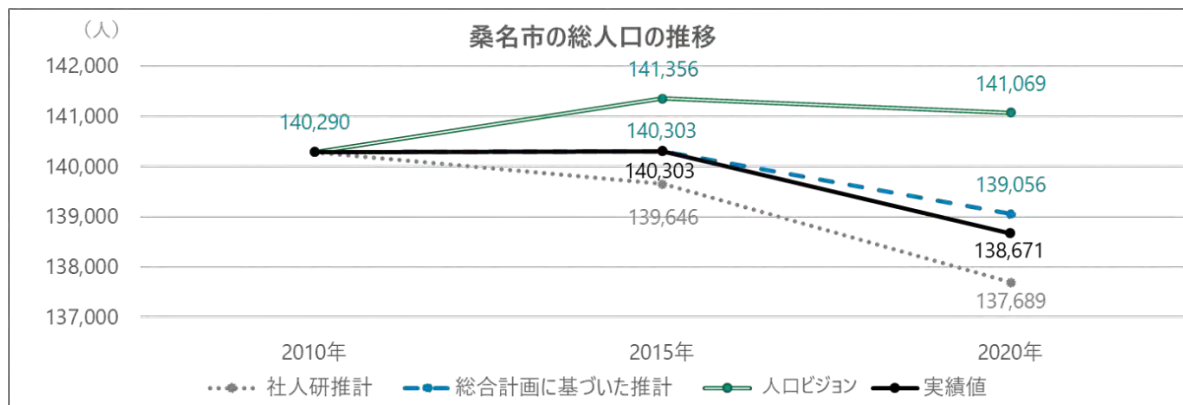
3. 第2期桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の前提となる社会背景

現在の日本の地域社会は、人口減少、少子高齢化、経済構造の変化、人の繋がりの希薄化、価値観の多様化など様々な問題を抱えています。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という新たな危機に世界が直面し、その中で、激甚化する災害、環境問題の深刻化、行政のデジタル化の遅れへの対応等、従来の考え方や手法では解決できない新たな課題が出現しています。

将来的な人口減少が加速し、高齢化が進んでいく中で、社会構造の変化に対応したまちづくりを進めていくためには、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現を目指すSDGsの理念を基本的な視点として位置付けた桑名市総合計画を推進し、新型コロナウイルス感染症の影響等も踏まえた新たな時代を見据えながら、市民生活や市経済の回復・成長に向け、実効性を持って取り組んでいくことが必要となります。

4. 人口ビジョン

人口ビジョンは、まち・ひと・しごと創生に向けた効果的な施策を企画立案するための重要な基礎と位置付けられており、桑名市では平成27年に策定しています。これにより、桑名市においても、将来的に人口が減少し、高齢化が進むことを認識しています。また、人口移動については、全体的に転入超過の状態が続いているものの、年齢階級別の人口移動を分析してみると、就学・就労の時期において転出超過の傾向が表れていました。さらに「住みやすい」というベッドタウンとしての特徴である昼間・夜間の人口移動が大きく、特に平日の昼間には、滞在人口が減少することが確認でき、昼間の滞在人口を増やすための対策が必要であることが分かっています。



上記、最新の人口動向でも、前回の人口ビジョンから大きな変化はなく、人口については平成27年の140,303人をピークに、減少傾向にあり、令和2年の国勢調査速報値によると138,671人と1,632人減少（増減率-1.16）しています。その要因として、平成27年までは、転入者数が転出者数を上回る社会増となっていました。令和2年度では、死亡数が出生数を上回る自然減および転出者数が転入者数を上回る社会減となったことが挙げられます。

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計に、桑名市独自のシミュレーションを加えた人口の将来展望では、平成27年は139,646人、令和2年は137,689人と予想されていたため、実績としてはシミュレーションを若干上回っているものの、人口が減少傾向にあることは間違いありません。

自然減および社会減を背景に人口減少が進む状況ではあるものの、桑名市では、人口減少社会に適應しながら、将来の発展に向けて新しい時代の流れを力にし、総合計画に掲げた持続可能なまちづくりを推進していくため、第2期総合戦略を策定して、切れ目なく「まち・ひと・しごと創生」を進めていきます。

5. 基本的な視点

総合戦略の策定にあたっては、国の「まち・ひと・しごと創生」政策5原則を踏まえるとともに、桑名市独自の視点に基づくものとします。

(1) 国の「まち・ひと・しごと創生」政策5原則

① 自立性

「地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるような施策に取り組む。」

② 将来性

「施策が一過性の対症療法にとどまらず、将来に向かって、構造的な問題に積極的に取り組む。」

③ 地域性

「地域の強みや魅力を活かし、その地域の実態に合った施策を、自主的かつ主体的に取り組む。」

④ 総合性

「施策の効果をより高めるため、多様な主体との連携や、他の地域、施策との連携を進めるなど、総合的な施策に取り組む。その上で、限られた財源や時間の中で最大限の成果を上げるため、直接的に支援する施策に取り組む。」

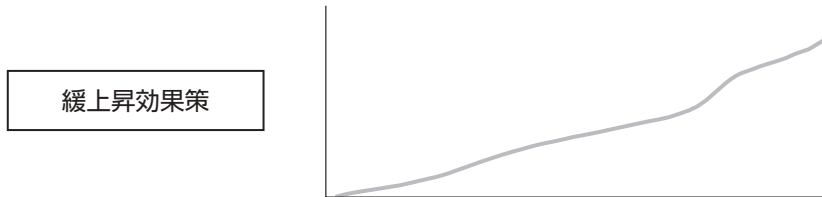
⑤ 結果重視

「施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。その後、政策効果を客観的な指標により評価し、必要な改善を行う。」

(2) 桑名市独自の視点

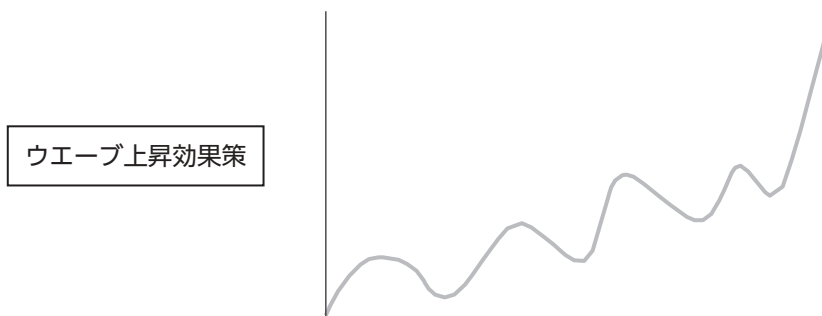
①長期的に続けることで効果が緩やかに表れる政策(緩上昇効果策)

時間をかけ一步一步確実に政策を進めることで、効果が徐々に表れてくる政策を進めていきます。目標や方向性を、しっかりと軸として持ちながら政策を進めることで、長期的に緩やかに効果が表れる政策です。



②短期施策の繰り返しによる実績で効果が表れる政策(ウェーブ上昇効果策)

短期的施策の実績を繰り返し、積み重ねることによって、長期的に効果を見たときにも効果が表れ、向上する政策を進めていきます。



Ⅱ 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付けと効果検証

1. 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略と桑名市総合計画との関係

桑名市では、市の最上位の計画に位置付けられ、桑名市の中長期のまちづくりの方向性を示す計画として「桑名市総合計画」(計画期間:平成27年度～令和6年度)が策定されており、桑名市のすべての施策は桑名市総合計画に基づいて実施されています。この桑名市総合計画は、市民の意見や、未来を担う若者の視点を幅広く取り入れ、全員参加型で策定したものです。

桑名市における第1期総合戦略は、市民の意見を反映して作成された桑名市総合計画から、地方創生に資する施策や事業を抽出することでベースを作成し、国・三重県の総合戦略等を勘案しながら策定しています。

第2期総合戦略の策定にあたっては、引き続き総合計画に位置付けられた施策や事業を参照するとともに、令和2年度からスタートした総合計画後期基本計画(計画期間:令和2年度～令和6年度)の内容と整合を図ります。

2. 「第1期桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証

総合計画における各施策の進捗管理については、重要な施策を中心に、外部有識者等で構成される桑名市総合計画審議会において検証を実施し、計画の進捗状況や委員の意見等を踏まえて、各施策の内容や予算案の策定を進めています。

総合戦略の進捗管理にあたっては、基本的には、上位計画であり各施策の抽出元である総合計画の進捗管理と一体的に行うこととし、地方創生推進交付金事業の効果検証等、必要に応じて桑名市地方創生会議において検証を行い、計画全体の推進を図っています。

第1期総合戦略では、「暮らす」と「インバウンド」の2つの基本目標に対応する6つの基本的方向を掲げ、25項目（うち2項目は重複）の数値目標を「重要業績評価指標（以下、KPI）」として設定し、目標達成への取り組みを進めてきました。

令和2年度の実績値による評価では、16項目においてKPIの目標を80%以上達成しています。一方で、達成率が80%未満となった7項目のうち、3項目は人的交流に関するものであり、新型コロナウイルスの影響を受けたため目標を下回ったものと考えられるほか、自然環境の変化の影響を大きく受けたと考えられるものが1項目ありました。

結果として、全体では約7割の項目においてKPIの目標を80%以上達成しており、戦略は概ね順調に進捗していることが分かりました。

第1期総合戦略の効果検証(令和2年度実績)

基本目標	基本的方向	具体的施策	重要業績評価指標(KPI)	目標値 (平成31年度)	現状 (令和2年度実績)
I 暮らす	「暮らしやすいまち」を創生する	防災	自主防災組織数	350組織	348組織
		消防・救急	救急車の現場到着平均時間	7.6分	8.1分
			消防団員の定員充足率	90.0%	83.38%
		中心市街地	桑名駅旅客乗車人員数	6,500,000人	7,137,899人 (令和元年度実績)
			六華苑利用者数	48,000人	25,046人
	都市デザイン	三重県ユニバーサルデザイン条例による適合率	60.00%	23.50%	
	コミュニケーション活動	情報発信の媒体数	7媒体	6媒体	
	「住んでみたいまち」を創生する	プロモーション活動	メディアでの露出度	1,200件	1,088人 (平成29年度実績)
	「住み続けたいまち」を創生する	地域医療・健康づくり	人口10万人あたり医師数	205.6人 (平成28年12月末現在)	197.8人 (令和3年3月末現在)
		地域福祉	ボランティアグループの登録数	150団体	121団体
		子ども・子育て支援	地域子育て支援センター・就学前児童年間平均施設利用回数	5.5回	16.7回
		学校教育	学習の定着度	80.00%	82.71% (令和元年度実績)
		生涯学習	くわな市民大学受講者数	3,450人	1,035人
	「働きやすいまち」を創生する	農林業	農産物直売所等での売上額	310百万円	276百万円
		水産業	貝の漁獲高	1,200トン	288トン
			漁業交流者数	46,000人	16,956人
商業		創業支援事業参加者数	500人	96人	
工業		製造品出荷額	47,370,184万円 (平成30年度実績)	40,599,650万円 (令和元年度実績)	
	桑名市企業誘致促進条例適用事業所数(奨励措置件数累計)	20件	27件		
II インバウンド	「魅了するまち」を創生する	プロモーション活動(再掲)	観光入込客数	1,025万人 (平成30年度現状)	1,180万人
			メディアでの露出度	1,200件	再掲
		文化・スポーツ	指定文化財数	170件	174件
	都市デザイン(再掲)	三重県ユニバーサルデザイン条例による適合率	60.00%	再掲	
	「国際力豊かなまち」を創生する	国際理解教育	小学校英語活動における児童の意欲向上	65.00%	56.1% (令和元年度実績)
国内・国際交流	活動団体の登録数	9団体	8団体		

Ⅲ 第2期桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

1. 戦略の方針

第1期総合戦略では、日々の生活や活動をするうえでの心地よさ・快適さを向上させ「暮らしたいまち」として選ばれる桑名市にしていく政策を推進するとともに、地理的優位性や魅力を最大限活用、発信し、「訪れたいまち」として選ばれる桑名市にしていく政策を推進することで、定住人口、交流人口や来訪者を増加させる「まち・ひと・しごと創生」に取り組んできました。

最新の国勢調査の結果及び将来人口の推計結果から、桑名市においても人口減少期に入っていますが、令和2年度の実績値では社人研による人口推計値を上回っています。また、第1期総合戦略の効果検証から、計画は概ね堅調に進んでいることが認識できました。

これらの結果を踏まえ、第2期総合戦略の基本方針については、基本的には第1期総合戦略のフレーム（基本目標と取組み方向等）を維持することとします。

上位計画である総合計画との整合については、令和2年度からスタートした桑名市総合計画後期基本計画に位置付けている、桑名市が目指す将来像を実現していく上で特に重点的に進める重点プロジェクト、市民満足度調査の結果から見えた暮らしに密着した課題への対応等と内容の整合を図ることとします。

また、社会構造の変化への対応として、技術革新の成果を活用することで、「市民サービス」「まちづくり」「行政運営」のあらゆる場面においてDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、スマート自治体への転換を図っていくとともに、異常気象の背景にある地球温暖化を踏まえ、脱炭素（カーボンニュートラル）に向けた取組みを推進するなど、新たな時代の潮流への対応を図っていくこととします。

KPIについては、目標が概ね達成されたものは、より高い目標値を検討するとともに、目標を達成できなかったものは、社会環境・自然環境等の影響を鑑みながら、総合戦略のビジョン達成のために適切な目標値を検討するなど、現在の桑名市が置かれている社会背景に柔軟に対応します。また、施策推進にあたっての横断的な考え方であるDX（デジタルトランスフォーメーション）及び脱炭素（カーボンニュートラル）については、戦略の具体的施策の実績評価と一体的に検証を行うことで、推進を図ることとします。

2. 戦略の計画期間

第2期総合戦略の計画期間は、桑名市総合計画の終期にあわせ、令和4年度から令和6年度までの3年間とします。

3. 戦略の基本目標

(1) 長期的に続けることで効果が緩やかに表れる政策(緩上昇効果策)

【基本目標1】暮らす

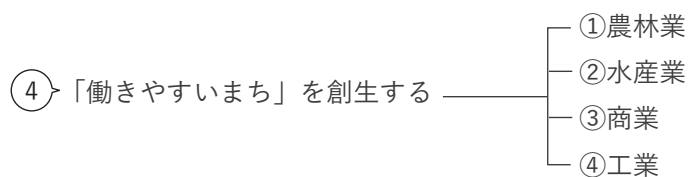
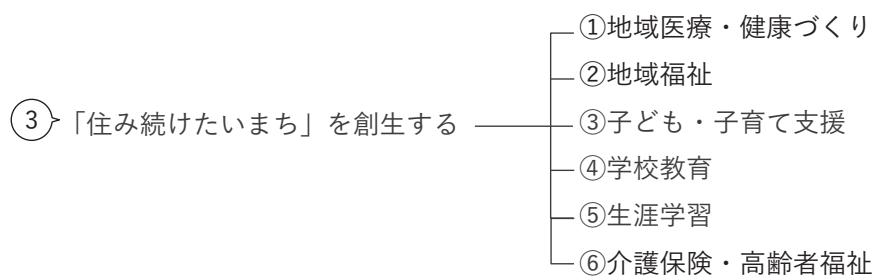
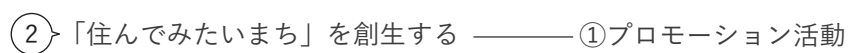
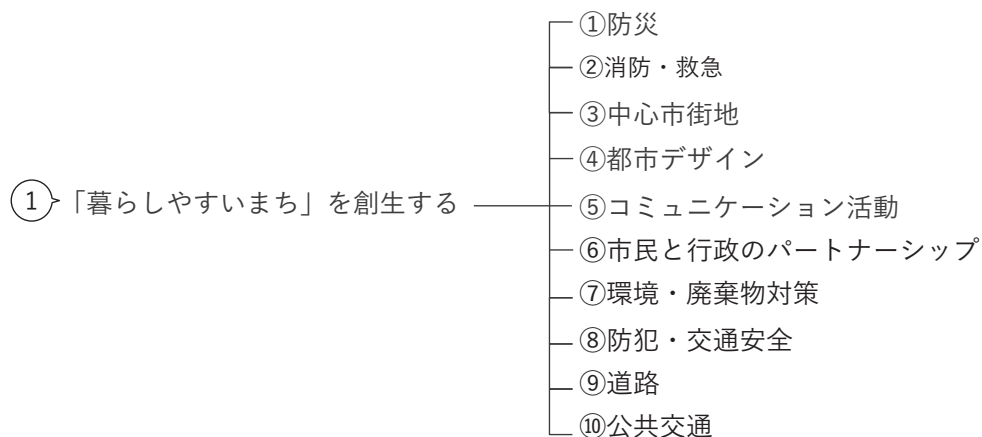
桑名市の「住み良さ」を分析し、日々の生活、活動、労働をしていくうえでの心地よさ、快適さを向上させ、個人がその個性と能力を十分に発揮でき、一人ひとりが大切にされ、心豊かに生きられる、だれからも「暮らしたいまち」として選ばれる桑名市にしていきます。

そのためには、現在持っている「本物」をさらに磨き上げ、より大きくし、より魅力のあるまちにしていきます。(=桑名力の発揮)

数値目標

指 標	実績値 (令和3年3月31日時点)	目標値 (令和7年3月31日時点)
住民基本台帳登録人口 (外国人を含む)	141,045人	138,000人

【戦略の基本的な方向と具体的な施策】



(2) 短期施策の繰り返しによる実績で効果が表れる政策(ウェーブ上昇効果策)

【基本目標2】インバウンド

中部国際空港から近距離であること、また、高速道路、国道などが充実した交通の要衝である地理的優位性や、国内上位の観光客入込客数を誇るレジャー施設を最大限活用し、国内外の人々から「訪れたいまち」として選ばれる桑名市にしていきます。

さらに国内外から訪れた観光客が体感・体験をすることで「桑名市で働きたい、住みたい」と思うようなまちにしていきます。

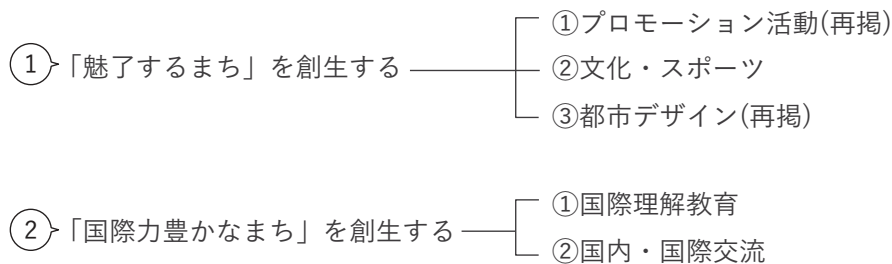
そのためには、現在持っている「本物」をさらに磨き上げ、より大きくし、より魅力のあるまちにしていきます。(=桑名力の発揮)

数値目標

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
観光客入込客数	1,180万人	1,180万人

※インバウンドとは…外国人旅行者を自国へ誘致すること。桑名市では市県外の方を含めた広義的な意味で使用しています

【戦略の基本的な方向と具体的な施策】



4. 戦略の基本的な方向、具体的な施策、重要業績評価指標(KPI)

【基本目標1】 暮らす

① 「暮らしやすいまち」を創生する

安全・安心な暮らしを守り、利便性や快適性の向上を図ることで、「暮らしやすいまち」を創生します。

桑名市の強みである高速道路、幹線道路、鉄道、バスなどの、交通ネットワークを最大限に活かし、人が移動しやすく交流できるまちをつくることで、交流人口の増加や移住につなげるなど、地域活性化を図る取り組みを進めます。

桑名市の玄関口である桑名駅を誰もが分かりやすく、利用しやすい駅にし、駅周辺地域と一体的な整備に取り組みます。

また、災害に強い地域づくりを進めるとともに、防犯対策、交通安全意識の醸成を推進するなど、安全・安心に、そして快適で便利に暮らせるまちとして、定住人口の増加につなげます。

① 防 災

めざす姿=共に助け合える、防災意識の高いまちになっています。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
自主防災組織数 地域防災力を向上させるため、「自分たちのまちは自分たちで守る」理念のもと、共助を担う自主防災組織の結成を促進します。	348組織	370組織

● 防災体制および災害対策機能の強化

- ◎災害対策本部機能の充実や災害対策本部体制の見直し、関係機関など、市の災害対応力の強化を図ります。
- ◎災害時の物資の円滑な受け入れなどに活用する防災拠点施設の整備を進めるとともに、備蓄物資や資機材の整備を進めます。

● 避難対策の推進

- ◎海抜ゼロメートル地帯の避難対策として、津波避難施設の整備や広域避難対策の検討などに取り組みます。
- ◎避難時に援助が必要な方（避難行動要支援者）への支援を適切におこなうための仕組みづくりを進めます。

● 地域防災力の向上

- ◎避難所運営について、地域との連携を強化します。
- ◎防災教育について、各学校の地域課題などに応じたカリキュラムの検討や講習の実施に取り組みます。
- ◎自主防災組織の活動支援や防災リーダーとなる人材の育成などを進めます。

②防災・救急

めざす姿=命や財産を守る備えが整い、安心して暮らしています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
救急車の医療機関収容平均所要時間 傷病者の搬送を適切におこなうため、119番入電から病院到着までの医療機関収容平均所要時間の短縮を目指します。	35.3分 (令和2年中)	35.0分 (令和6年中)
消防団員の定員充足率 地域の消防を担う消防団の強化のため、消防団に入団しやすい環境づくり、消防団員の確保に取り組みます。	83.38%	90.0%

● 消防体制の充実強化

- ◎消防庁舎移転などの検討を進めます。
- ◎消防資機材・消防水利の整備と隊員の教育訓練を充実させます。
- ◎桑名市・四日市市・菰野町の3消防本部による共同消防指令センターのスムーズな運用に努めます。
- ◎緊急消防援助隊の受け入れと出動が、円滑に進むよう態勢を整えます。

● 救急救命体制の強化

- ◎救急救命士・指導救命士の養成と教育訓練を充実させ、救急救命士の資質の向上をめざします。
- ◎救急件数の増加に対応するため、救急車の適正利用を呼びかけるとともに、救急隊の迅速な処置、医療機関との連携を強化させ、救急車の医療機関への収容時間の短縮を進めます。
- ◎救急隊の活動において、検証会をおこない、より適切な救急業務をめざします。

● 消防団の強化

- ◎消防団員の処遇の改善により、消防団に入団しやすい環境づくりを進めます。
- ◎消防団員の活動を充実させるため、さらに教育訓練をおこないます。また、消防団施設や車両、安全装備品などの整備をおこないます。

③中心市街地

めざす姿=暮らしやすくにぎわいある、コンパクトなまちになっています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
桑名駅旅客乗車人員数 桑名駅西口駅前広場及び自由通路・橋上駅舎化により、交通結節点として機能強化することで、駅利用者である旅客乗車人員の増加を図ります。	7,137,899人 (令和元年度時点)	7,200,000人 (令和5年度時点)
六華苑利用者数 中心市街地のにぎわい創出のため、旧城下町における歴史的・文化的資源を活用した集客・交流機能の整備を進めます。	25,046人	48,000人

● 都市交流拠点の整備

- ◎桑名地区の玄関口である桑名駅周辺では、駅東西地区の連携強化を図るとともに、交通結節機能を強化し、にぎわいと活力ある拠点として整備を進めます。
- ◎桑名駅周辺地区整備構想に基づき、安全で利便性の高い交通結節機能を再構築するとともに、にぎわい創出や安心して暮らせる都市機能を集積させるまちづくりを進めていきます。

● にぎわいある中心市街地の整備

- ◎持続可能なコンパクトシティの実現のため、立地適正化計画による住みよいまちづくりを進めていきます。
- ◎災害対策本部機能の充実や災害対策本部体制の見直し、関係機関など、市の災害対応力の強化を図ります。

● 観光資源の魅力アップ

- ◎多度、長島地区の歴史文化、自然、観光といった資源を整備、発掘し、有効活用していきます。

④ 都市デザイン

めざす姿=景観が美しく保たれ、みんなにやさしいまちができています。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
三重県ユニバーサルデザイン条例による適合率 みんなに優しいまちづくりを進めるため、条例に基づくユニバーサルデザインの完了検査件数に対する適合証交付件数の割合を増やしていきます。	23.5%	30.0%

● 魅力ある住環境の推進

- ◎桑名の美しいまちなみや景観を保全するため、屋外広告物事務の拡充に取り組みます。
- ◎桑名市空家等対策計画により、空家などの対策に取り組みます。

● みんなに優しいまちづくり

- ◎三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例の対象となる建築物に係る事務を通じて、だれもが利用しやすい公共的施設整備がおこなわれるよう普及啓発をおこないます。

⑤ コミュニケーション活動

めざす姿=まちの情報がいつでもわかり、自分の声が市政に届きます。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
情報発信の媒体数 桑名市の情報発信力を向上させるため、発信対象を考えて、情報発信の媒体を多様化します。	6媒体	7媒体

● 広報・広聴活動の充実

- ◎広報紙による市政情報の発信に加え、ホームページなどを充実させ、情報の発信をおこないます。
また、市民アンケートやパブリックコメント、ツイッターなどを活用し、市民と双方向の情報交換をおこない、市民の意見を市政に反映できるように努めます。

● 情報の共有

- ◎市政に関する情報を積極的に公開し、市民への説明責任を果たすことで、市政の透明化をめざします。

⑥ 市民と行政パートナーシップ

めざす姿=市民の個性が活かせる地域コミュニティができています。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
地域運営組織の設立数 当該組織が設立されることは、住民主役のまちづくりの推進につながるため、主体的な取り組みを支援します。	0組織	29組織

● 市民自治の推進および地域運営組織の形成

- ◎自治会をはじめ地域のさまざまな団体や市民活動団体が連携して、地域における課題解決の意識を高め、支え合いをはじめとする課題解決のための活動に主体的に取り組むことを支援します。

⑦ 環境・廃棄物対策

めざす姿=ゴミが減り、エネルギーの地産地消に取り組んでいます。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
公共施設のCO2排出量 環境負荷の少ないまちづくりを進めるため、CO2削減を目標に、行政が率先して環境配慮行動を実践します。	14,150t	14,685t

● 環境負荷の少ないまちづくり

- ◎地球温暖化対策や再生可能エネルギーの活用に向けた、省エネルギーの研修や啓発を積極的に実施します。
- ◎市民および事業所が引き続き環境に配慮した効率的なまちづくりを推進できるよう取り組みます。

⑧ 防犯・交通安全

めざす姿=防犯、交通安全意識の高いまちになっています。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
交通安全教室の参加者数 交通安全意識の醸成を推進するため、警察および自動車学校と共同でおこなう交通安全教室を充実させ参加者数の増加を図ります。	1,300人	11,820人

● 防犯意識の向上と防犯の推進対策

- ◎地域自主防犯団体の活動の活性化を図るとともに、新たな団体の結成と担い手の育成を支援します。
- ◎特殊詐欺対策などの啓発を積極的におこないます。
- ◎地域における防犯対策として、防犯カメラなどの設置を推進します。

● 防犯ネットワークの強化

- ◎県、警察、地域生活安全協会や教育委員会などからの情報をより効率的かつ効果的に地域自主防犯団体や事業所などへ伝達できる防犯ネットワーク強化を図ります。
- ◎地域自主防犯団体などの活動を連絡・共有できる組織体制の構築を図ります。

● 交通安全意識の醸成

- ◎小中学校での交通指導員による、参加・体験・実践型の交通安全教室を実施します。
- ◎高齢者などに対する交通安全啓発活動をおこない、交通安全対策の充実を図ります。
- ◎各種イベントなどでの交通安全啓発活動に取り組みます。

● 安全かつ快適な交通環境の整備

- ◎パトロールなどをおこない、交通危険箇所の把握と対策に取り組みます。
- ◎県、警察、自治会や地域団体など、関係機関との連携を図り、交通危険箇所の把握と早期の改善、対策に取り組みます。
- ◎安全で快適な交通環境をつくるため、交通安全施設の整備・点検と危険箇所の対策をおこないます。

⑨ 道 路

めざす姿=だれもが安心して通行できる道路になっています。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
道路舗装修繕延長 道路利用者および第三者の被害を防止するため、舗装・道路付属物などの損傷状況の実態を把握し、平成26年度より計画的に修繕をおこなっていきます。	1,264m/年	700m/年
橋りょう修繕実施数 平成26年度から平成30年度までの点検結果を基に修繕計画を更新し、計画的に修繕施工を進めます。	10橋/年	5橋/年

● 道路舗装・付属施設の維持管理

- ◎道路の施設（舗装、付属施設、擁壁・のり面など）について、計画的な点検、補修と応急的な修繕や改修を継続的に実施して、安全・快適に利用できるようにしていきます。

● 橋りょうの維持管理

- ◎橋りょうなどの計画的な点検、補修と応急的な修繕や改修を継続的に実施し、安全・快適に利用できるようにしていきます。

● 幹線道路などの整備

- ◎国や県に対して、各幹線道路の整備促進を要望しつつ、事業に関する調整などをおこない、交通利便性の向上を図ります。

● 生活道路などの整備

- ◎狭あい道路の整備や、通学路をはじめとする歩行者の安全確保のための道路整備をおこない、人にやさしい道路空間づくりに努めていきます。

⑩ 公共交通

めざす姿=人が移動しやすく交流できる、元気なまちになっています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
市民満足度 平成30年度の市民満足度調査における満足度の向上をめざし、コミュニティバスの利便性を高めます。	55.5% (平成30年度時点)	61.0%

● 鉄道輸送の確保・維持

◎養老線については、養老線沿線自治体とともに、一般社団法人養老線管理機構の運営をおこないます。北勢線については、沿線自治体とともに、三岐鉄道の北勢線運営に対する支援をおこないます。

● バス輸送の確保・維持

◎交通空白地の解消、高齢者の移動手段の確保を図るためコミュニティバスのルートの見直しをおこないます。
 ◎地域が主体となって実情に応じたコミュニティバスのルートになるよう、地域が話し合える土台作りをします。

● 地域公共交通計画の策定

◎民間交通事業者と共存し市内の公共交通が持続できるよう、地域全体の公共交通のあり方、住民・交通事業者・行政の役割を定める地域公共交通計画を策定します。また、地域の実情に応じてMaaSなどの新たなモビリティサービスの導入を検討していきます。

2 「住んでみたいまち」を創生する

桑名市にある地域資源・魅力（歴史、文化・スポーツ、まちなみ、農産物、水産物、特産品など）が情報発信され、日本・世界中の人に、それぞれの目的に合った場所として選ばれる「住んでみたいまち」を創生します。

地域資源(魅力)を掘り起こし、磨き上げ、本物(桑名ブランド)として効果的な情報発信に取り組むことによって桑名市の認知度の向上とイメージアップを図り、交流人口、ひいては定住人口の増加につなげます。

市民が桑名の魅力に自信と誇りを持ち、それを情報発信することで、市内外からの購買や定住、観光など幅広いニーズに応え、選ばれるまちとして定住人口の増加につなげます。

① プロモーション活動

めざす姿=まちの魅力が、桑名ブランドとして広く世間に知れ渡っています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
七里の渡し休憩施設の利用客数 住吉地区および七里の渡し周辺の魅力向上を図り、 休憩施設の利用客を増やしていきます。	1,678人	4,000人

● 桑名ブランドの推進

◎桑名には魅力ある食、歴史、文化などたくさんの資源があり、これらを全国にPRすることで、桑名を広く知ってもらい、桑名に対するイメージを高めます。

● 桑名ブランドの推進(文化・スポーツ)

◎桑名の歴史や文化、スポーツなど、桑名ブランドとしての取り組みを関係機関と進めます。

● 桑名ブランドの推進(生涯学習)

◎生涯学習を通じた学びにより、桑名に対する誇りと認識が深まるよう関係機関と取り組みを進めます。

● 桑名ブランドの推進(農林業)

◎なばな、トマト、タケノコなど産地強化に努め、ブランド化を進めて、消費拡大に取り組みます。

● 桑名ブランドの推進(水産業)

◎ハマグリ、海苔などの代表的な水産資源の魅力さをさらに磨き、桑名のブランドとして誇れる取り組みを市民の皆さん、関係機関とともに進めます。

● 桑名ブランドの推進(商業)

◎桑名の魅力的な商品をさらに磨き、桑名ブランドとして市内外の人に知ってもらう取り組みを関係機関と進めます。

● 桑名ブランドの推進(工業)

◎鋳物、サンダルなどの桑名を代表する工業品をさらに磨き、桑名ブランドとして誇れる取り組みを関係機関と進めます。

● 桑名ブランドの推進(都市デザイン)

◎桑名のまちなみをはじめとする都市デザインを桑名ブランドとして誇れるよう、関係機関と取り組みを進めます。

3 「住み続けたいまち」を創生する

子どもを安心して産み育てられ、様々な世代が交流し学ぶための環境が整った「住み続けたいまち」を創生します。

安心して子どもを産み育てるための環境を整えることや、将来にわたって安定した人口構造を維持していくために最も重要な子育て世代の移住を促すことで、少子化に歯止めをかけます。

また、様々な世代が交流し、学ぶための環境づくりを進めることで、定住化につなげます。

①地域医療・健康づくり

めざす姿=医療体制が充実し、市民が健康づくりに取り組んでいます。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
人口10万人あたり医師数 住み慣れた地域において、医療面で安心して生活を送る事ができる環境が求められています。医療環境の充実を計るひとつの指標として、人口10万人あたり医師数を増やします。	197.8人	205.6人

● 地域医療体制の整備および充実

- ◎適切な医療サービスが切れ目なく提供されるよう、医療機関の機能分化と連携、介護・福祉サービスなどとの連携を進めます。
- ◎かかりつけ医をもつこと、コンビニ受診を控えるなどの啓発をおこないます。

● 救急医療体制の整備および充実

- ◎継続的で安定した救急医療を提供するため、関係機関との協力と連携のもとで桑名市応急診療所の運営をおこないます。
- ◎高度・急性期医療における地域の中核病院となる、桑名市総合医療センターを支援します。
- ◎災害発生など、緊急時の医療連携体制の充実に努めます。

②地域福祉

めざす姿=市民が支えあい、安心して暮らせる地域をつくっています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
ボランティアグループの登録数 多くの市民がボランティアに参加する機会を増やすため、ボランティアの育成と活動しやすい環境を整えます。	121団体	150団体

● 地域を支える人づくり

◎地域福祉を支える人づくりのために、ボランティアなど地域で福祉活動を担う幅広い人材育成を進めます。また、市民一人ひとりの福祉意識を高め、地域の課題解決に向けた行動を起こせるように「地域福祉」に関する市民同士の啓発活動を進めます。

● 地域を見守る仕組みづくり

◎地域の中には、支えを必要とする人がたくさんいます。こうした人たちを地域全体で支えるために、地域で活動する人や団体などのネットワークをつくり、地域の見守りなどを充実させて、問題解決ができる地域包括ケアなどの仕組みづくりを進めます。

◎福祉に関する身近な情報を提供し、相談できる体制づくりを進めます。

● 地域をつなげる場づくり

◎ひとり暮らしの高齢者など何らかの支援を必要としている人が増加しているため、公共施設や身近な地域の施設を活用し、地域住民の交流を深めながら、地域ぐるみでまちづくりに取り組めるよう、さまざまな人が集える地域福祉の活動拠点づくりを進めます。

③子ども・子育て支援

めざす姿=地域の支えで、子どもを3人育てられるまちになっています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
就学前施設の受入れ枠の確保 働きながら、子育てをする女性を応援するため、就学前施設の受け入れ枠の確保をおこないます。	2,830人	2,875人

● 子育て家庭への支援サービスの充実

◎さまざまな保護者のニーズに対応した休日保育、延長保育、一時保育などの保育サービスを充実させ、地域子育て支援センターを中心に子育て家庭の育児の負担軽減や、子育てガイドブック、子育てアプリなどによる情報発信に努めます。

● 子どもの安全な居場所づくりの推進

◎まちづくり拠点施設、公園、幼稚園、保育所（園）などを活用して、関係団体と協力を図りながら、気軽に利用できる地域の居場所の充実に努めます。

● 安心して子どもを産み育てられる環境の整備

◎子育て体験事業などを通して命の大切さを考える機会を提供し、次代の親の育成をおこないます。

◎親支援プログラムを実施して、子育ての力を強めるとともに子育て家庭の交流を促進します。

◎関係機関との連携を強め、児童虐待などの未然防止や早期対応、ひとり親家庭に対する支援などによる子育て環境の整備に努めます。

● 地域全体での子育て支援の推進

◎相互援助活動をおこなうファミリーサポートセンター事業、子育て応援ボランティアの養成と活動支援、子育てサークル団体など地域の子育て事業への支援をおこないます。

● 就学前の教育・保育の充実

◎幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設などの多種多様な保育環境の整備に努めます。

◎保育現場への情報通信技術を導入し、保育所利用者へのサービスの向上をめざします。

◎市内の就学前教育にかかわる職員の専門的な知識などを高め、個々の資質向上を図ります。

◎小学校と就学前施設との連携を図り、よりよい接続につなげます。

④ 学校教育

めざす姿=安心できる環境で、子どもたちの生きる力が育っています。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
授業改善の進捗度 授業改善を図り、「授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と肯定的に回答した割合を高めていきます。	73.1%	85.0%

● 確かな学力の定着と向上

- ◎小中一貫教育を推進することにより「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、小・中学校9年間を通じた授業改善をおこない、子ども主体の活動を進めます。
- ◎特別な支援を必要とする子ども一人ひとりに応じた指導・支援体制の実現をめざします。

● 豊かな心の育成

- ◎子どもたちの教育環境を整え、子どもたちが心身ともに成長し、健康で豊かな人間関係を築けるようにしていきます。

● 地域とともにある学校づくり

- ◎すべての市立小・中学校に設置されたコミュニティ・スクールにおいて、「社会に開かれた教育課程」を体现する取り組みを進めます。

● 教育環境の整備

- ◎快適で安全・安心な学校施設の整備を進めつつ、施設、設備の大規模改修や長寿命化の対策を踏まえて計画的に進め、子どもたちの育ちにとって望ましい環境につなげます。
- ◎小中一貫校に適した教育環境の整備を進めます。

⑤ 生涯学習

めざす姿=誰もが自由に学べ、交流する場が生まれています。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
くわな市民大学受講者数 学びの成果をまちづくりに活かすことを目的とする「くわな市民大学」の受講者を増やすことで、学びの地域還元をめざします。	1,035人	3,350人

● 学習機会の提供・支援

- ◎幅広い市民の要望に対応した学習機会の提供に力を入れ、市民の主体的な生涯学習活動を進めます。
- ◎社会教育関係団体による自主的な学習活動の支援をおこない、生涯学習に関するさまざまな情報提供と相談体制の充実を図ります。

● 生涯学習施設などの適切な管理・運営

- ◎誰もが安全で快適に使用できる管理・運営方法に努めます。
- ◎地域の特性を活かした柔軟な施設運営を図ります。

⑥介護保険・高齢者福祉

めざす姿=多くの高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしをしています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
自立高齢者の割合 高齢化が進み介護が必要になる方の増加が予測されますが、地域包括ケアシステムの推進により、自立高齢者数を維持していきます。	85.9%	86.1%
介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けられると感じる割合 地域包括ケアシステムの推進により、多くの方が生き生きと住み慣れた地域で自立して生活を続けていけると思えるようにします。	53.9%	55.0%

● 地域包括ケアシステムの深化・推進

◎地域包括ケアシステムは、高齢期におけるケアを念頭としてきましたが、近年では育児と介護に同時に直面する世帯など課題が複合化してきていることから、その仕組みを多世代に活用し、包括的な支援体制の構築に取り組みます。

4 「働きやすいまち」を創生する

新技術開発・新製品開発の促進や製品のブランド化によって地域産業を活性化し、「働きやすいまち」を創生します。

新技術開発、競争力強化に取り組むことで、製造業をはじめとする地場産業を維持・発展させ継続的に雇用を創出します。

農林業、漁業を儲けられる産業として成立するよう取り組み、あわせて、後継者や担い手の育成に取り組めます。

製造業をはじめとする製品、加えて農産物、水産物について情報発信し、付加価値を高めるブランド化に取り組めます。

① 農林業

めざす姿=桑名のおいしい農産物が全国で愛されています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
新規就農者 新規就農者を促進します。	0経営体	2経営体

● 桑名ブランドの推進

◎なばな、トマト、タケノコなど産地強化に努め、ブランド化を進めて消費拡大に取り組めます。

● 農業経営基盤の強化および整備

◎担い手への農地利用の集積、集約化を図ります。また、優良農地の適切な管理を進め、農地の有効利用を促進します。

◎農業後継者の育成に努めます。

● 地産地消の推進

◎学校給食に地元産の米を積極的に使用し、また、旬の地元食材を使用した献立づくりを進めます。地域の食文化や産業、自然の恩恵に対する理解を広めます。

②水産業

めざす姿=後世に引き継がれる漁業で、地域水産物を豊かに提供しています。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
貝の漁獲高 水産業の振興、特に、ハマグリ、シジミなどの貝類の漁獲拡大と資源保護の両立を図ります。	288トン	288トン
漁業交流者数 漁業交流センター(はまぐりプラザ)を活用するなど、水産業を活かした交流、地産地消の推進・拡充を図ります。	16,956人	33,000人

● 桑名ブランドの推進

◎ハマグリ、海苔などの水産資源の魅力をさらに磨き、桑名のブランドとして誇れる取り組みを市民の皆さん、関係機関とともに進めます。

● 漁業経営基盤の強化および整備

◎漁協・漁業経営の体質強化、漁協研究会などの活動の支援や漁業施設の近代化の支援などにより、経営基盤の強化と整備をおこないます。

● 交流・地産地消の推進および拡充

◎漁業まつりなどのイベント支援などにより、市民交流や漁業・漁村への理解、地元水産物の消費拡大を進めます。

③商 業

めざす姿=魅力あるお店と買い物をする人で、まちににぎわいがあふれています。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
創業支援事業参加者数 事業所数の増加、商店街の活性化を目的に、商工会議所などが開催する創業塾や相談会、セミナーなどの支援をおこないます。	96人	220人

● 桑名ブランドの推進

◎桑名の魅力的な商品をさらに磨き、桑名ブランドとして市内外の人知ってもらおう取り組みを関係機関と進めます。

● 商店街の活性化

- ◎関係機関との連携によって、回遊性のある商業空間づくりを進めます。
- ◎地域の商店街の集客力を高める取り組みを支援します。
- ◎創業者や後継者の育成、事業承継に取り組みます。

● 商業経営環境の整備

- ◎小規模事業者の設備資金と運転資金の安定的な調達や、商店街などがおこなう近代化・高度化・活性化のための事業を支援します。
- ◎経営力の向上、新商品・新サービスなどの国内外への販路開拓を支援します。

④ 工 業

めざす姿=地域に根ざした工場が活気にあふれています。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
製造品出荷額 中小製造業の振興と競争力向上を図るため、支援をおこなっていきます。	40,599,650万円 (令和元年度実績)	40,533,979万円 (令和5年度実績)
桑名市企業誘致促進条例適用事業所数 (立地協定締結件数) 地域経済の振興、雇用の場の拡大のため、企業誘致を推進します。	27件	35件

● 桑名ブランドの推進

◎ 鋳物・サンダルなどの桑名を代表する工業品をさらに磨き、桑名ブランドとして誇れる取り組みを関係機関と進めます。

● 中小企業の振興と競争力向上

◎ 地場産業の技術向上と活性化を図ります。

◎ 中小企業の厳しい事業環境を改善するため、老朽化した設備を生産性の高い設備へと一新させ、労働生産性の向上を図ります。

● 企業誘致の推進

◎ 多度地区企業用地への誘致活動を関係機関とともに取り組むほか、高速道路インターチェンジ付近の開発を促進し、新しい産業拠点づくりに力を入れます。また、地域の産業集積の形成と活性化について、県や近隣市町と連携して広域で取り組みます。

【基本目標2】 インバウンド

① 「魅了するまち」を創生する

印象的で魅力あふれる歴史、文化・芸術、スポーツによって、住む人、来る人が感動する場面にあふれた「魅了するまち」を創生します。

桑名の歴史、文化・芸術を観光資源、地域資源として捉え、観光の産業化に取り組みます。

六華苑及び諸戸氏庭園とその周辺に形成されている歴史景観地区にふさわしい利便性の高い一体的な維持管理とアクセス環境の整備を促進します。

また、桑名フィルムコミッションなど、地域の特色に応じた取り組みを展開することで交流人口の増加、ひいては移住につなげるなど、地域活性化に取り組みます。

① プロモーション活動（再掲）

めざす姿＝まちの魅力が、桑名ブランドとして広く世間に知れ渡っています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
観光入込客数 桑名ブランドを首都圏メディアに積極的に紹介し、露出を図ることで、観光客の増加を図ります。	1,180万人	1,180万人
七里の渡し休憩施設の利用客数 住吉地区および七里の渡し周辺の魅力向上を図り、休憩施設の利用客を増やしていきます。	1,678人	4,000人

● 桑名ブランドの推進

- ◎ 桑名には魅力ある食、歴史、文化などたくさんの資源があり、これらを全国にPRすることで、桑名を広く知ってもらい、桑名に対するイメージを高めます。

● 観光事業の魅力向上

- ◎ 観光資源のさらなる魅力アップと情報の発信によって、外国人観光客も含めた誘客を進めます。

● 広域連携による誘客

- ◎ 外航クルーズのツアーやMICE、国際会議の誘致について、三重県をはじめ関係市町と連携し、誘客の取り組みを進めます。

● 住吉地区および七里の渡し周辺のまちづくり

- ◎ 民間主体で、桑名の歴史的・文化的な中心である住吉地区および七里の渡し周辺の新たなにぎわいを生み出して交流人口の増加につなげていき、地域の活性化を図ります。

②文化・スポーツ

めざす姿=芸術や歴史・スポーツに親しむ人が増えています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
文化事業への参加者数 市民展、市民芸術文化祭、十六夜コンサートなどの文化事業に参加する人の増加を図ります。	2,065人	7,500人

● 桑名ブランドの推進

◎桑名の歴史や文化、スポーツなど、桑名ブランドとしての取り組みを関係機関と進めます。

● 文化芸術活動の推進

◎市民展や博物館の展示など、市民が芸術や文化に親しむ場を充実させ、市民の文化向上の支援に努めます。

● 文化財の保護・活用

◎六華苑など、貴重な市民の財産である文化財を保護・活用し、桑名の魅力として公開していきます。

◎出前講座、関係団体との保全活動を通じて、文化財に関心を持ってもらい、保存活用に努めます。

● スポーツ活動の支援

◎市民が気軽に参加でき、楽しめるスポーツイベントを開催し、市民の健康への関心を高めます。

◎既存の施設案内やイベントを積極的に公開し、また、スポーツを始めたい方に情報を提供します。

● 競技スポーツの振興

◎市民体育大会などを通じて、競技スポーツへの動機づくりに努めます。

◎地元出身の競技選手や地元競技チームの活動情報を提供します。

③都市デザイン（再掲）

めざす姿=景観が美しく保たれ、みんなにやさしいまちができています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
三重県ユニバーサルデザイン条例による適合率 みんなに優しいまちづくりを進めるため、条例に基づくユニバーサルデザインの完了検査数に対する適合証交付件数の割合を増やしていきます。	23.5%	30.0%

● 桑名ブランドの推進

◎桑名のまちなみをはじめとする都市デザインを桑名ブランドとして誇れるよう、関係機関と取り組みを進めます。

● 緑地、緑化の保全形成

◎都市のうるおいや防災の機能を含めた貴重な資源として、公園・緑地の整備を推進し、市内に残された公園・緑地と調和した計画的市街地などの形成に取り組みます。

2 「国際力豊かなまち」を創生する

国際化に対応した人・環境が整い、様々な国の人たちと交流ができる「国際力豊かなまち」を創生します。

国際社会への興味・関心及び異文化理解を深めながら国際感覚を持ったグローバルな人材育成を図るとともに、国際化に対応した受け入れ環境を整えます。

国内外からの桑名への来訪者の増加と、その滞在時間の増加を図るとともに、それによってもたらされる経済波及効果が地域に及ぶよう、桑名が一体となって戦略的な取り組みを進めます。

①国際理解教育

めざす姿=互いの文化や考えを理解した子どもたちが交流しています。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
中学校3年生の英語力 CEFR(※)A1レベル相当以上を取得している生徒及び 相当の英語力を有すると思われる生徒の割合を高め ていきます。	32.0%	50.0%

(※)外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠のことで、A1は実用英語検定3級程度。

● 国際理解教育の推進

- ◎桑名市の自然や産業、食、歴史や文化に関わる学習や体験を深め、郷土に愛着や誇りをもつ取り組みを進めます。
- ◎異なる文化・習慣を理解する学習や交流、体験活動などの国際交流を進め、相互理解と友好の機会を充実させます。

● 英語教育の推進

- ◎外国の人や英語にふれる機会を充実させます。小・中学校9年間で系統立てた「桑名市英語教育プラン」をもとに、子どもたちが、英語を使い、自信を持って自分の思いや考えを表現したり、伝えあったりすることができることをめざし、小中一貫した取り組みを進めます。

● 外国人児童・生徒の学校生活支援の充実

- ◎今後も日本語指導が必要な外国につながる子どもの増加が見込まれます。国際化対応教員を派遣して、初期適応指導や日本語指導などの支援の充実を図ります。また、日本語指導と教科指導を結びつけたわかりやすい授業づくりを進めます。

②国内・国際交流

めざす姿=まちの魅力が広く発信され、交流の輪が広がっています。

重要業績評価指標（KPI）

指 標	実績値 (令和2年度時点)	目標値 (令和6年度時点)
活動団体の登録数 外国や多文化に関心を持ち理解を示す市民が増加するよう、外国人と共生し文化の交流などを深められる場の拡大を図ります。	8団体	9団体

● 国内地域間交流の推進

- ◎友好都市をはじめとするさまざまな地域との交流を深めるため、歴史・文化などの交流活動を進めます。また、地域のもつ資源や固有の文化などの価値を高めるため、これまでの枠組みにとられない新たな地域間交流について検討を進めます。

● 多文化共生の推進

- ◎情報の多言語化、日本語や日本文化の学習機会の提供に努めます。
- ◎異なる文化をもつ人たちが安心して暮らせる環境づくりを進めます。
- ◎多文化共生の意識の向上と外国人住民の地域活動への参加を促進します。

● 国際化の推進

- ◎国際感覚を身につけるため、海外からの視察を受け入れたり、海外の子どもたちと交流を図ったりして、持続性のある多彩な交流を進めます。

第2期 桑名市まち・ひと・しごと創生総合戦略

◎発行／令和4年3月

◎編集／桑名市 市長公室 政策創造課

〒511-8601 三重県桑名市中央町二丁目37番地

TEL 0594-24-1463 FAX 0594-24-1412

E-mail seisakum@city.kuwana.lg.jp

HP <http://www.city.kuwana.lg.jp/>



本物力こそ桑名力